



登録速報（新規登録）

農薬名： Cs.オリゼリディアEV箱粒剤
 登録番号： 第24485号
 登録日： 2021年1月27日

登録内容

・適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7ルリシを含む農薬の総使用回数	プロパザールを含む農薬の総使用回数	ペンコセリンを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	イネヌズリウム	1kg/10a	は種時	1回	は種同時 施薬機を用いて 土中施用する。	3回以内 (は種時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (は種時までの 処理は1回以内)	1回
稲	いもち病 イネノオムシ イネヌズリウム		移植時		側条施用	3回以内 (直播での種時 又は移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)	
稲(箱育苗)	いもち病 紋枯病 イネノオムシ イネヌズリウム		移植 3日前～ 移植当日		育苗箱の上から均 一に散布する。	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)	

・使用上の注意事項

- (1) は種時に使用する場合は、直播栽培に使用し、専用のは種同時施薬機を用いること。
- (2) 移植時に使用する場合は、次の注意事項を守ること。

- ① 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
 - ② 移植後は湛水状態（湛水深3～5cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
 - ③ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予想される場合には使用をさけること。
- (3) 育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ること。
- ① 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とした後、十分灌水すること。
 - ② 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけること。
 - ③ 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用すること。
 - ④ 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意すること。
 - ⑤ 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
 - ⑥ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけること。
 - ⑦ 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (4) 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけること。
- (5) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。